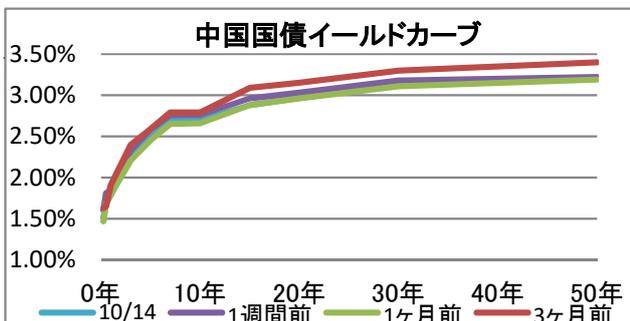
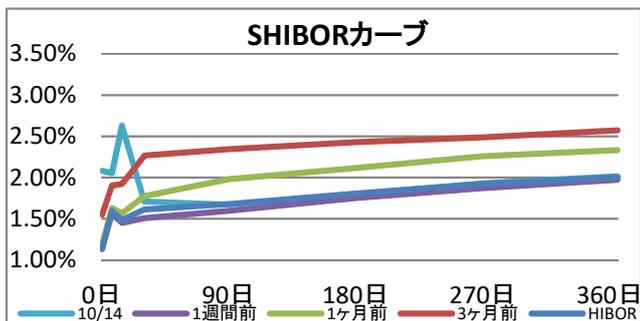


基準レート		2022/10/14	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1088	+0.0090
	JPY/CNY	4.8341	-0.0935
SHIBOR	3M	1.6800%	+0.0070%
国債利回り	10年	2.70%	-0.06%
上海総合指数		3,071.99	+47.60



(1) 概況

国際金融市場では、英新政権の経済運営や、米国のインフレの高止まりとインフレ抑制を意識した金融政策継続への懸念に加え、ロシアによるウクライナ4州併合への国際社会の対応の困難さ等から、先行き不透明感の強い不安定な状況が続く。長期債利回りは米国で10年債が4%台に乗せる等上昇を続け、株式市場は区々の状況となり、ドル高は一服。

中国金融市場でも、四半期末後の連休明けながら共産党大会を控えた週とあって概ね安定しており、特に週後半に中国人民銀行の易総裁がG20財務相中央銀行総裁会議で経済安定を支援する金融政策方針を示したことも安心感につながり、株式市場、債券市場ともにしっかりの展開。外為市場では、ドル高を背景とする元安からドル人民元は7.2近辺まで上昇。

中国では、習主席が中国共産党第20党大会の活動報告で、経済面では質の高い経済発展を最重要任務と位置付け、社会主義市場経済改革や高いレベルの対外開放の堅持、共同富裕の着実な推進等に言及。中国人民銀行易総裁は、G20会議において穏健な金融政策の実施を強化し、実体経済を一段とサポートする方針を示したほか、中国人民銀行は、複数の公表論文の中で、国の法治化方針に基づく金融の法治化推進に向けた中国人民銀行法等の改定方針や為替レートの大幅な変動の抑制、デジタル人民元と既存電子決済手段との相互接続や香港との間でのデジタル人民元実証実験の更なる模索方針などを示した。銀保監会は、信託会社に対する信託業務分類規制によりシャドウバンク規制を一層強化し、企業集団財務公司管理法を制定し、証監会は、上場企業株式買戻規則（修正案）をパブコメに付し、上海証券取引所等は、上証科創板（科学技術イノベーションボード）成長指数を11月4日から公表すると発表。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、国慶節連休前に行った大量のリバースオペ期日9,680億元に対し、新規リバースオペ290億元を実施し、ネットで9,390億元を吸収。

(3) 主な経済指標

- ・財新PMI (9月) は、サービス業が49.3 (8月、55.0)、総合でも48.5 (同、53.0) と大幅に低下して50を下回り。サービス業では受注が悪化に転じ、雇用は一段と悪化している。
- ・CPI (9月) は、前年比+2.8% (6月+2.5%) と上昇幅拡大。食品価格 (前年比+8.8%)、特に豚肉 (+36.0%)、野菜 (+12.1%) の上昇やガソリン価格の高止まりによるもので、コアCPIは前年比+0.6% (6月+0.8%) にとどまった。
- ・PPI (9月) は、前年比+0.9% (7月、+2.3%) と11カ月連続低下で、前月比でも3カ月連続のマイナス。原油等の原材料価格の低下による。購買価格の上昇が在庫価格を上回る状況は続くが、企業収益への悪影響は緩和方向。
- ・人民元貸出増加額 (9月) は、2.47兆元 (8月、1.25兆元) と、各種政策措置の効果から市場の予想を上回る大幅増。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.1330%	1.1500%	1.1315%	
1W	1.5940%	1.6500%	1.5000%	
2W	1.4840%	1.4840%	1.6500%	1.3800%
1M	1.6130%	1.8200%	1.8000%	1.5200%
3M	1.6800%	2.6000%	2.0000%	1.7700%
6M	1.8060%	3.2000%		1.8500%
9M	1.9220%	2.4000%		1.9350%
12M	2.0030%			1.9950%

四半期末後の国慶節連休明けで、重要な政治日程を控えた週となり、中国人民銀行は連休前に供給していた資金の回収を進めたものの、資金需給に大きな問題はなく、金利水準も短期は季節要因が剥落して低下。ターム物は1ヶ月が1.7%前後で出合っている。

NCDも、四半期末越え要因の剥落により概ね低下。ターム物は1ヶ月が1.5%前後、3ヶ月1.75%前後、6ヶ月が1.8%台後半、1年が2.0%前後で取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	3.05%	3.06%
1W	3.10%	3.15%
1M	3.35%	3.45%
3M	3.80%	3.90%
6M	4.10%	4.20%
12M	4.40%	4.60%

注目された米物価指数が予想を上回り、インフレ鎮静化の困難さに対する意識が一段と強くなり、ターム物の金利水準も上昇。ただし、ターム物は1ヶ月の3.40%前後での出会いを除き限定的。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.51%		1.77%	1.77%	1.95%
6M	1.68%		1.93%	2.00%	2.19%
1Y	1.79%	1.98%	2.05%	2.11%	2.41%
3Y	2.26%	2.43%	2.46%	2.62%	3.05%
5Y	2.49%	2.64%	2.85%	2.94%	3.61%
10Y	2.70%	2.98%	3.18%	3.35%	4.11%

債券市場では、連休後のコロナ感染再拡大による経済への影響が意識される中、中国人民銀行易総裁のG20 財務相中央銀行総裁会議での実体経済を支援姿勢を好感し、それまで下げ渋っていた債券利回りが低下することとなった。米国債利回りはインフレ指標の高止まりに対する厳しい見方が優勢となり、10年米国債利回り（4.02%、+19bp）の中国国債利回り（2.70%、-6bp）の上回り幅は+132BP（前週+26bp）に一段と拡大している。

イールドカーブは、四半期末要因の剥落と金融緩和が続くとの安心感から中長期を中心に全体的に低下しており、フラット化傾向が続いている。クレジットスプレッドは中期ゾーンまでの利率債の利回り低下が相対的に大きかったことから拡大に転じている。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-137.5 / -136.0
3M	-490.0 / -480.0
6M	-1100.0 / -1065.0
9M	-1888.0 / -1610.0
12M	-2148.0 / -2140.0

対ドル基準レートは7.1088と前週末比+90pipsのドル高元安、対円基準レートは4.8341と同-935pipsの円安元高と、対ドルでは連休明けの急激なドル高を牽制する元高設定が続いている。連休明けの中国国内市場では、7.1近辺で取引が始まった後、人民元指数の安定により対ドルでの急速な元安への懸念が強くないこともあり、共産党大会を控えているものの7.2近辺までドル高が進行している。

先物は、ドル金利上昇懸念が一段と高まったことからマイナス幅が一段と拡大し、-2150程度まで低下している。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.78%		1.47%
6M	1.84%	1.84%	1.54%
9M	1.89%	1.95%	1.63%
1Y	1.95%	2.06%	1.70%
3Y	2.27%	2.54%	1.97%
5Y	2.49%	2.89%	
7Y	2.65%	3.09%	
10Y	2.78%	3.25%	

スワップ金利は、基準金利、利率債利回りともに低下したことから低下に転じている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入